

はじめに

港北区は、全国の 20 政令指定都市の全ての行政区の中で最も多い約 35 万人の人口で、横浜市全体では人口減少が見込まれる中、今後もさらに人口が増える見込みとなっています。また、区内では相鉄・東急直通線の開通や新綱島駅（仮称）周辺の再開発をはじめとした大きなまちの変化が予定されています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延が、これまでの状況を大きく変化させました。市民生活への影響は長期化しており、「新たな生活様式」の実践が求められています。

さらに、生産年齢人口の減少や超高齢化社会の進展による社会保障経費の増加、公共施設の保全・更新費への更なる対応など、財政状況は今後一層厳しさを増していくなかで、将来的な課題を踏まえた持続可能な行政運営を行っていく必要があります。この危機的状況において、地域の総合行政機関として区役所が果たすべき役割は、より一層高まっていると言えます。

そこで、より多様化する行政ニーズを的確に把握するために、四年に一度となる区民意識調査を今年 5 月から 6 月にかけて実施いたしました。本調査は、将来を見据えた課題の把握やデータに基づく効率的・効果的な事業を組み立てる基礎材料となってきます。

今回の調査では、区民の生活意識や生活構造を明らかにするという視点で、区民の日常生活を意識と行動の両面から捉える設問としたほか、設問数を厳選するなど、回答のしやすさにも配慮しました。

ご多用中のところ、調査にご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。

令和 2 年 11 月

横浜市港北区役所

令和2年度 港北区 区民意識調査 報告書 目次

1. 調査の概要	1
2. 調査回答者の主な属性	5
3. 調査結果の概要・分析	19
(1) 港北区内での継続居住意向について	
(2) 公共サービスについて	
(3) 区役所の情報発信について	
(4) 地域でのつながり・助け合いなどについて	
(5) 子育てについて	
(6) 学校について	
(7) 多文化共生について	
(8) 防災について	
(9) 健康について	
(10) 買い物について	
(11) ペットについて	
(12) 自由記述について	
4. 調査結果の地区別概要・分析	85
(1) 大倉山地区	
(2) 大曽根地区	
(3) 篠原地区	
(4) 菊名地区	
(5) 城郷地区	
(6) 日吉地区	
(7) 新吉田・新吉田あすなろ地区	
(8) 高田地区	
(9) 樽町地区	
(10) 綱島地区	
(11) 新羽地区	
(12) 師岡地区	
5. 調査票	137

